

2024年1～3月

	三重・愛知	全国・海外
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●2026年秋のアジア競技大会の開催を巡り、大会組織委員会は選手の交流拠点として愛知県国際展示場(常滑市)などの検討を発表。(1/9) ●中部国際空港が発表した2023年の年間航空旅客数(速報値)は前年比71%増の851万人に。コロナ禍が落ち着いたことで航空需要が回復。(1/25) ●三重労働局は県内の外国人労働者が昨年10月末現在で前年比2,475人増の33,753人となり、過去最多を更新したと発表。(1/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ●能登半島地震が発生。輪島市と志賀町で震度7。石川県で死者は200人超。住宅被害は同県で4万6千棟。輪島市の朝市周辺の200棟が消失。(1/1) ●日航機が羽田空港で進入許可なく滑走路上にいた海上保安庁の航空機と衝突し炎上。日航機の乗客379人は脱出。海保機は乗員5人が死亡。(1/2) ●台湾総統選で与党・民進党の頼清徳氏(64)が当選。中国対抗の姿勢維持。同じ政党が3期続けて政権を担う。(1/13)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●トヨタ自動車の2023年4月～12月のグループ決算は営業利益が初の4兆円を超えて過去最高に。年度決算の最終利益も4兆円超を見込む。(2/6) ●熊野古道の世界遺産20周年に伴い、都内で「記念サミット 紀伊山地の霊場と参詣道」が開催。三重、和歌山、奈良、3県の知事等が魅力をPR。(2/9) ●イオンリテールは白子駅前に「そよら鈴鹿白子」を3/28に開業すると発表。「そよら」は小さい商圈対象の都市型の新業態で、県内では初出店。(2/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ●2023年のドル建ての名目GDPは日本がドイツに為替や物価要因などで逆転され世界4位に。日本は4兆2106億ドル、ドイツは4兆4561億ドル。(2/15) ●日経平均株価が終値3万9098円と約34年ぶりの史上最高値に。牽引役はバブル期の金融株から半導体株に交代。(2/22) ●スウェーデンのNATO加盟決定。スウェーデンはロシアのウクライナ侵攻を受け、200年超続いていた軍事的中立の立場に終止符。(2/26)
3月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●『ドラゴンボール』『Dr.スランプ』などの作者で漫画家の鳥山明氏が急性硬膜下血腫のため亡くなる。愛知県清須市出身。享年68歳。(3/1) ●DX推進で志摩市、グーグル・クラウド・ジャパン、ソフトバンクが連携協定を締結。早ければ2024年度中に職員向けにデジタル技術を導入。(3/13) ●スタジオジブリの作品世界を表した愛知県長久手市のジブリパークに、新エリア「魔女の谷」がオープン。これにより全5エリアが開園。(3/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーチューズデー(15州・1米領での各党予備選・黨員集会)がほぼ決着。共和党ではトランプ前大統領の指名獲得が事実上確定。(3/5) ●北陸新幹線の金沢駅～敦賀駅間が延伸開業。観光やビジネス需要の創出が能登半島地震被災地の復旧・復興の原動力になるとの期待も。(3/16) ●日本銀行がマイナス金利を解除。政策金利を▲0.1%から0%～0.1%へ引き上げ。利上げは約17年ぶりで金融政策正常化に向けて転換。(3/20)

2024年4～6月の予定

	三重・愛知	全国・海外
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ●「2024年 FIA F1世界選手権シリーズ日本グランプリレース」が、鈴鹿サーキットにて開催。決勝は4/7。通例の秋開催を春開催へ移行。(4/5-4/7) ●名古屋市栄のランドマークである「中日ビル」が33階建ての高層ビルとしてリニューアルオープン。全93のテナントが出店予定。(4/23) ●豊田の歴史や文化、自然、産業などがテーマの総合博物館「豊田市博物館」が開館。設計は世界中をフィールドに活躍する建築家・坂茂氏。(4/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ●時間外労働の上限規制の猶予期間が終了。物流・建設・医療業界でも残業時間が上限規制の対象となり、人手不足が深刻化する恐れ。(4/1) ●各国で総選挙など相次ぐ。4/10韓国総選挙、4/19-6/1インド総選挙、6/2メキシコ大統領・議会選挙、6/6-6/9欧州議会選挙など。(4-6月) ●2024年分の所得税と住民税に対し、1人当たり合計4万円減税する定額減税が実施に。対象は、合計所得金額が1,805万円以下の居住者。(6/1)

フォーカス

DX推進で、志摩市、グーグル・クラウド・ジャパン、ソフトバンクが連携協定を締結

三重県志摩市、グーグル・クラウド・ジャパン、ソフトバンクの3者は、DXと地域活性化を推進するための連携協定を、2024年3月13日に締結しました。本協定は持続可能なまちづくりを目指し、新しいデジタル技術を活用することで、行政事務の効率化や住民サービスの向上を図ることを目的としています。

志摩市では、職員がグーグル・クラウド・ジャパンの生成AI「Vertex AI ※1」「Gemini for Google Workspace ※2」とコラボレーションを促進する「Google Workspace」を情報の収集、分析、共有などで活用し、業務の効率化を進める予定です。また、ソフトバンクはグループ各社と連携して提供する顔認証を導入し、安全性確保のための技術検証と住民サービス向上に応用できるかを調査する予定です。グーグル・クラウド・ジャパンが自治体とのDXに関する連携協定を締結し、「Gemini for Google Workspace」の実証実験を行うのは、国内では志摩市が初となります。

※1 Vertex(バーテックス) AI: 画像認識、自然言語処理、機械学習などを行う総合的なAIプラットフォーム。

※2 Gemini(ジェミニ) for Google Workspace: 生成AIであるGeminiを活用しメール、文書、資料、スライド作成などを行う生成AIサービス。